

# 第 85 回 空間研究小委員会研究会

## 『つながる』と『はなれる』から考える 新しい『はたらく場』の展望

近年、オフィス内へのカフェ・ラウンジ・キッチンスペースやキャンプ家具などの導入により、従来からあったオフィスとは異なる要素を取り入れた「はたらく場」が見られはじめている。今回の会場である「Un.C. (アंक)」では、「屋根のある公園のようなオフィス」というコンセプトのもと、オフィス環境がデザインされている。廃棄物を再利用したオリジナルのオフィス家具を用いることで、アイデアを誘発するための「ノイズ」をオフィス内に取り込んだり、ワーカー同士がフランクに「つながる」場としてオフィスの中心にキッチンを配したり、落ち着いて打合せや個人作業を行えるボックス席を提供するなど、モチベーションの向上やリフレッシュが図れるような、魅力的かつ多様な場面・家具が展開されている。

一方、オフィスにおいて、より「つながる」ことが要請された状況に対しては、ワーカーによって様々な感じ方があり、最近では、カフェ店舗や図書館といったオフィス以外の場所で仕事をするワーカーも増えてきている。時には日頃の執務環境から「はなれる」ことのできるような場所をオフィス内外に提供することで、作業環境の快適性をワーカー各自で確保できることの必要性も高まってきていると考える。

本研究会では、新しい場を提供するオフィスを実際に見学した上で、「つながる」「はなれる」場の視点から、ワーカーがオフィス内外において、モチベーションアップや交流・集中を自分自身でコントロールできる新しい「はたらく場」の在り方について展望したい。

**主 催** : 建築計画委員会 計画基礎運営委員会 空間研究小委員会

**日 時** : 2018年11月5日(月) 15:00 ~ 17:00

**会 場** : シェアオフィス「Un.C. (アंक)」(東京都中央区日本橋馬喰町 2-7-15)

### <プログラム(予定)>

**受付開始** : 14:45 \*受付後、指定範囲内で自由見学可。

**オフィス説明** : 15:00~15:05

**オフィス見学** : 15:05~15:20

**はじめに** : 15:20~15:26 (佐野 友紀/早稲田大学)

**話題提供** : 15:26~16:15

- 1 「オフィスの外ではたらく人 - なぜオフィスから『はなれる』のか -」 佐藤 泰 (早稲田大学助教)
- 2 「Un.C. について - 空間と人・食が生み出す『つながり』 -」 塩津 友理 (OpenA)
- 3 「はたらく場において『つながる』こと、『はなれる』こと」 馬場 正尊 (OpenA代表、東北芸術工科大学教授)

**質疑・討論** : 16:25~16:55

**まとめ** : 16:55~17:00 (佐野 友紀)

**参加費** : 会員 1,500 円、会員外 2,500 円、学生 1,000 円 (資料代含む/当日会場払い)

**定 員** : 35 名 (申込み先着順)

**申込方法** : 催し物名称、氏名・勤務先・所属・同住所・同電話番号、参加区分を明記し、

下記までお申し込みください。

**申込・問合せ** : 佐藤 泰 (早稲田大学) E-mail: satoh-tai@aoni.waseda.jp